

# 株主優待・配当



1

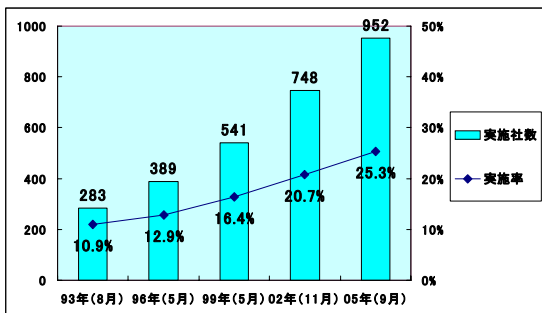
## 株主優待とは

- 企業が株主に対してサービスや製品を提供する制度



2

## 株主優待実施企業数と実施率の推移



3

## 株主優待を受けるには

- 株主優待制度を導入している企業の株主になる
- 企業が優待の対象として定めている数(多くは単元数)の株を権利確定日に保有している

4

## 権利確定日

- この日に株主名簿に記載されている人を株主とみなす日
- 通常は決算月の末日
- 権利確定日を除いて4営業日前までに約定を済ませなければ、優待・配当は受けられない

5

## 権利確定日

月	火	水	木	金	土	日
24	25	26	27	28	29	30
↑	↑					
	権利落ち日					
	権利付最終売買日					
31						
権利確定日						

24日までに購入していれば優待・配当が受けられる

6

## 優待の回数と時期

回数: 多くは年1回か2回  
毎月や年4回のところもある  
ex) 毎月→東映(株)  
年4回→(株)コロワイド

時期: 権利確定日から3~4ヵ月後

7

## ミニ株での優待は？

- 優待は受けられない
  - 証券会社が名義人であるため、優待品は証券会社へ届く
  - 優待品をミニ株保有者に分配している証券会社もある
- 優待権利が発生する株数まで買い増しすれば優待を受けられる

8

## 信用取引での優待は？

- 優待は受けられない
  - 証券会社が名義人であるため



9

## 保有株数で優待内容は変化するか

- 保有株数に応じて優待の量は変わるという企業が多い
  - 多くの場合、単元数と同じ割合で優待の量が増えるわけではない
  - 複数単元を保有していた方が、最小単元を保有するよりも有利になる場合もある  
ex) 日本航空

10

## なぜ株主優待があるか

- 株主に対する利益還元策
- 安定的な株主を作る
- 自社株式を身近なものとしてアピール

11

## 実施企業のトレンド

- 小売業
  - 実施率が高い
  - Ex) 自社商品・買い物割引券
- 製造業など
  - 実施率は低い
  - 実施したとしても、商品券・プリペイドカードなど
- 最近の傾向
  - 鉄鋼業などで積極的に導入

12

## 株主優待を配当と同じように考える

- 株主優待は配当と同様、利益還元の1つ

- 優待利回り =  $\frac{\text{株主優待の金額}}{\text{株価}} \times 100$

- 実質利回り =  $\frac{\text{年間配当金額} + \text{株主優待の金額}}{\text{株価}} \times 100$

13

## 株主優待の具体例(1)

- カブドットコム証券
  - 取引手数料の割引。割引率は1%~15%まで
- エイベックス・グループ・ホールディングス
  - 自社オリジナルグッズ、CD、イベント招待
- シダックス
  - レストランカラオケ優待券。優待利回り26%。

14

## 株主優待の具体例(2)

- スターバックス コーヒー ジャパン
  - ドリンク券。1株から取引可能。
- アドバンスクリエイト
  - 交通事故及び火災による後遺障害保険
  - (1株以上、1年契約)
- 東日本旅客鉄道
  - 乗車割引券

15

## 実際、株主優待券は.....？

- オークション・金券ショップで流通



## 株主優待の注意点

- 業績と財務状況をしっかり把握して投資
  - 会社が倒産すれば意味がない
- 優待がずっと続くとは限らない
  - 業績により、優待の廃止or減額の可能性あり
- 自らが享受できる優待であること
  - 自らが利用することで企業のサービスをチェック

17

## 配当とは

- 企業が利益を株主に分配するもの
- 企業は、利益を源泉として配当を支払う
- 株主は、利益配当請求権に基づき配当を受け取る
- 現在では全て現金配当になった
  - 以前は株式配当もあったが、株式分割という称呼に変わった

18

## 配当の種類

- 普通配当: 通常の決算期毎に出る配当
- 特別配当: 特別な利益が出た時や会社の業績が特に好調な時にプラスされる配当
- 記念配当: 会社の創立記念や上場記念などの行事の一環としてつける配当
  - Ex) ダイドードリンコ (2006年度、2007年度)

19

## 中間配当

- 営業年度を1年とする会社が、期末配当とは別に、年度中の一定の日に行う金銭の配当
- 中間期末日現在の株主に対して支払う
- 上場企業の半分以上が実施
- 不況下では、中間配当を見送る会社が多い

20

## 四半期配当

- 四半期ごとに剰余金の配当を行う制度
  - 新会社法によって認められた
- 株主還元の観点から注目度が高まっている
- 定款変更した企業が500社を超え、配当を表明した企業が9社
- 導入した会社: 野村ホールディングス、日興コーディアルグループ、ホンダなど
- 米国では、7割の企業が四半期配当を導入している

21

## 配当の受取

- 受取時期: 決算日から約2~3ヶ月
- 受取方法: 銀行か郵便局での窓口支払い、銀行口座への振込み
- 受取期限: 約3年くらいで権利が消滅

22

## 安定配当政策から業績対応配当へ



23

## 配当利回り

- 株価に対する年間配当金の割合を示す指標
- 直接株主に還元されるリターンの率
- 算出式
 
$$\text{配当利回り}(\%) = \frac{\text{一株当たり年間配当金}}{\text{株価}} \times 100$$
- 株価が下落すると配当利回りは上昇する
- 投資するときは、予想額で配当利回りを出す

24

## 配当利回りとその他の利回りの比較

- 普通預金の平均年利率:0.2%
- 長期国債(10年)新発債流通利回:1.6%

順位	市場	名称	1株配当	配当利回り
1	JASDAQ	ノーバーストラス ジャパン(株)	80円	8.32
7	東証一部	(株)武富士	230円	5.56
46	東証一部	ゲットマイルグループ(株)	1,625円	3.83
63	東証一部	京都きもの友禪(株)	4,200円	3.53
118	大証一部	(株)ニッセイホールディングス	23円	3.13

- 日産自動車:2.55%      ● ローソン:2.34%
- 東燃ゼネラル石油:3.12%

25

## 配当性向

- 算出式

$$\text{配当性向(\%)} = \frac{\text{配当金総額}}{\text{純利益}} \times 100$$

- 税引前当期純利益をベースにすることもある
- 配当性向が低いことは、利益処分に余裕があり、内部留保率が高いことを意味する
- 日本企業の配当性向:20%台
- 欧米企業の配当性向:40%~50%が普通

26

## 自己資本配当率(DOE)

- 自己資本のうち、どれだけを配当に回しているかを測る数値
- 算出式

$$\text{DOE} = \text{自己資本利益率(ROE)} \times \text{配当性向}$$

$$\frac{\text{配当金総額}}{\text{株主資本}} = \frac{\text{純利益}}{\text{株主資本}} \times \frac{\text{配当金総額}}{\text{純利益}}$$

27

## DOE(2)

- 優れている点
  - 配当性向の高さだけで選ぶよりも、配当額が業績に左右されにくい銘柄を見つけやすい
- 注意点
  - 資本の少ない企業が上位に来る傾向がある  
⇒財務基盤が強固なのかを見極める

28

## 配当課税

- 算出方法

$$\text{配当金の税金} = \text{配当金} \times \text{源泉徴収税率} \\ (\text{所得税} + \text{住民税})$$

- 税率

上場株式等の配当課税	配当の支払いを受ける時期	
	H16.1~H21.3	H21.4~
所得税	7%	15%
住民税	3%	5%
源泉徴収税率合計	10%	20%

29

## 配当金の税金

- 配当金の額にかかわらず、税率によって源泉徴収され、確定申告不要とすることができる(大株主を除く)
- 配当控除を利用して確定申告することも可能
  - 配当所得と給与を合わせて「総合課税」とし、累進税率を元に税金の計算を行う
- 確定申告して源泉徴収された金額が戻ってくる場合もある

30

## 株主優待・配当の情報の入手方法

- インターネット
  - 企業ホームページ
  - ヤフーファイナンス、nikkei netなどの情報サイト
- 専門誌
  - 「会社四季報」、「日経会社情報」など
- 雑誌
  - ダイヤモンドZAI、日経マネー、オール投資など
- スクリーニング機能

31

## 参考資料

- Yahoo!ファイナンス
  - <http://quote.yahoo.co.jp/>
- 株主優待倶楽部
  - <http://www.miobeans.com/kabuyou/qa.html>
- 大和インベスター・リレーションズ
  - <http://www.daiwair.co.jp/index.cgi>
- 日本銀行
  - <http://www.boj.or.jp/>
- 日経ビジネス(2007/6/18号)

32